

浮野小学校と平田小学校の統合について **おたより詳報**（令和6年11月）

- ・説明会の会場やアンケートでいただいたご意見・ご質問と教育委員会の考え方をまとめたものです。
- ・内容について、趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、原文を一部要約し、また分割して掲載しておりますのでご了承ください。

1 統合の方針について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	実際に学校に通うのは、大人ではなく子ども自身なので、子どもたちのことをよく考えて、納得できるように進めてほしいです。子どもの負担が大きいようであるなら、賛成できません。現在の案を見ると、デメリットが多く感じるので、メリットについて具体的に教えてほしいです。	教育委員会としましては、子どもたちの良好な教育環境の確保を目指しており、小規模校の解消は大きな課題と捉えています。現在、すべての学年が単学級である浮野小学校が、将来的にも同様の状況が継続される見込みから、統合を検討しています。統合することで、浮野小学校の抱えるクラス替えのできない小規模校の状況が解消され、子どもたちの教育環境が改善されると考えます。 また、統合にあわせて、古くなった平田小学校の校舎を改築（新築）します。新しい学びに対応できるワークスペースの設置、木のぬくもりのある校舎、エレベーターの設置をはじめとしたバリアフリー化などを行います。 統合後の子どもたちの声として、昨年度統合した丸の内小学校の児童アンケートでは、「友達が増えた」「遊ぶ回数が増えた」「運動会などの行事について楽しくなった。にぎやかになった」といった回答をいただいています。また、通学距離が遠くなった児童の半数から「大変になった」という意見がありましたが、そのうちの6割の児童から「下校時に友達と話ができて楽しい」という意見がありました。 新しい学校が子どもたちにとって楽しい学校となるように進めていきたいと考えています。
2	統合することが子どもたちにとってプラスになってほしいと思います。 子どもたちにとっては、学校全体の人数も増えることで多様な価値観を育むことができたり、校舎が新しくなったりするなどプラスにとらえています。	統合によって新しい友達が増えることで、多様な考えに出会い、その中から自分の考えを導き出すことができるなど、現在大切だとされる学びを効果的に行えるようになると思います。 また、新しい校舎ではワークスペースや十分な広さの多目的室などの整備を行うことで、学校全体が学びの場になり、学習の幅も広がると考えています。

3	新校舎ができた時には、地域住民や卒業生が見学できる機会がありますか。	新校舎が完成した際には、地域の方、保護者の方、卒業生などに対して施設見学会を行う予定です。
4	説明会の資料には仮設校舎のことが書かれていません。子どもが増えるうえに、仮設校舎を建てると運動場が狭くなり良い教育環境が保てないと思います。平田学区の子どもの数が減り、仮設校舎が必要なくなっから統合すれば子どもに負担をかけないと思います。	浮野小学校が将来的にもすべての学年が単学級の状況が続くと見込まれることから、浮野小学校の小規模校の解消に早急に取り組まなければならないと考えています。一方で、仮設校舎が必要なくなる児童数となる見込みがしばらくの間はありません。 仮設校舎の建設にあたっては、できる限り運動場を確保できる配置とするとともに運動ができる機会の確保をしていけるようにしたいと考えております。
5	統合したことによって見えてきたデメリットや課題があれば教えていただきたいです。	統合校で統合後に行ったアンケートでは、学校が遠くなったという意見が一番たくさん出ています。また、分団の集合時間が早くなったという意見や、統合により通学区域が広がったため、子どもの行動範囲が広くなり心配が増えるという意見もありました。
6	学校名はどのようにになりますか。	2校の統合により新しい学校をつくるという考えで行っていますので、今までの学校名は使用せず、学校名、校章、校歌などを新しいものに変えていく予定です。これまでの統合校では、広く校名の候補を募集し、それをもとに、地域の代表の方、PTAの方、学校の先生と教育委員会からなる「新しい学校づくり懇談会」において、校名を検討していきます。
7	令和9年から浮野小学校の場所で統合する時に、平田小学校と浮野小学校の児童が一緒になってクラスをつくるということですか。	新しい学校としてスタートしますので、平田小学校と浮野小学校の子どもをバランスよく合わせた学級編成を行います。
8	2年程度、3年程度というスケジュールがどれくらいの目安なのか知りたいです。ずれるとそれだけ子どもたちへの心の準備に関わるので、見通しをもう少し明確に教えていただきたいです。	統合決定や工事期間、新校舎への移転までのスケジュールにつきましては、過去に行った統合の実績を踏まえてスケジュールを作成し、お示ししています。具体的には、統合決定後2年間かけて新しい学校の検討、児童の相互交流、あわせて校舎の改築の設計を行います。その後、浮野小学校の場所で統合校を開校し、平田小学校の工事を行います。工事期間として3年間必要と考えています。

9	平田中学校への進学が同じ顔ぶれになるのはどうかと思います。中学校になっても顔ぶれが変わらないので、子どもの世界が広がらない、社会性が育まらないのが心配です。	現在、小規模校の子どもたちが中学校へ進学する時に急激な人数の変化によって不適応を起こす子どもが多くいるという声が聞かれている状況です。そのため、小学校のうちから一定程度の人数の中で社会性を育てていくことが大切と考えています。 また、クラス替えがなく単学級で生活していくことに対しては、本来、小学校生活の中で子どもたちが経験すべきことができないまま中学校に進学してしまうことが大きな課題だと考えています。 例えば、単学級だと走ることが得意な子が分かっていて、走ることが苦手な子どもは、真剣に走ることをあきらめてしまうケースが聞かれます。また、授業の中でいつも決まった子どもばかりが発言し、周りの子どもがその子に任せてしまい発言に対して消極的になるという声も聞かれます。クラス替えができ、クラスのメンバーが変わる、担任の先生も変わる、学年が変われば心機一転頑張る気持ちになれる子もいます。単学級ではチャレンジしようとする気持ちがなくなってしまう子どももいることを考えると、中学校で一緒になるより小学校のうちから一緒になる方が必要なことと考えています。
10	地域活動は、統合前と変わらないとありますが、どのようなイメージなのか教えてください。	地域活動につきましては、既存の学区の範囲で、平田学区で今まで活動している内容はそのままの形で、浮野学区の活動も変わらず今までの形で運営していただけます。
11	名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会がどのようなものか分かりません。	名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会とは、大学教授や市PTA協議会の代表、区政協力委員協議会の代表などの第三者で構成された外部機関であり、教育委員会の統合案に対して、客観的に意見を述べる機関です。

2 通学の安全・通学距離について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	資料に出ている通学距離は、直線距離を測っているのか、それとも通学路をしっかりと測って出しているのかどちらでしょうか。	通学距離の測定の仕方は、直線距離ではなく、今の平田小学校と浮野小学校の通学路を基にして、教育委員会が想定したルートで測定しています。 実際の通学路につきましては、まだ統合が決定していないので、設定に至っていませんが、統合が決定しましたら、両校の先生方と教育委員会と一緒に通学路の原案を検討していきます。通学路の決定までには、保護者の皆様に通学路の原案を示したり、登校練習会を開催したりして、実際の通学路を決定していきます。
2	通学距離が2 km 以内とするのが本当に妥当なのか疑問があります。	学校を設置するときの通学範囲としましては、文部科学省が平成27年に「公立小学校・中学校の適正規模、適正配置に関する手引」を出しており、その中で小学校の通学距離はおおむね4 km 以内とすることが一般的とされています。名古屋市では通学距離がおおむね2 km 以内となるように小学校を設置し徒歩で通学していますのでご理解いただきたいと考えています。
3	新学期や学期末の荷物の多さ、トワイライトに参加する時のお弁当、タブレットパソコンなど、両手にたくさんの荷物を持って歩いていくことが当たり前になっていませんか。子ども目線で寄り添って考えてほしいと思います。	現在、学校では、使用頻度の低い教科書や資料集をできるだけ学校に置いておく、いわゆる「置き勉」の取り組みを進めているところです。 統合が決定した場合、新しい学校のルールは、浮野小学校と平田小学校の校長先生と教育委員会とで検討していくことになりますが、その中でこれまでの統合校の取り組みなどを参考しながら、荷物への対応についても検討していきたいと考えています。
4	歩く距離が長くなるうえに、昨今の暑さへの対策について、具体的にどのようなことを行っているのか教えてほしいです。 通学の距離について不安がぬぐえません。子どもの足で1.8kmはかなりつらいと思います。暑さ対策や子どもの負担を減らす有効的な策を具体的に考えていただきたいです。	市内の学校では、熱中症対策として、日傘や首を冷やすものなどの使用、スポーツドリンクの持参など熱中症対策グッズを認めているケースが多くみられます。統合校でも熱中症対策について柔軟な対応ができるように働きかけを行っていきます。 また、これまでの統合校では、通学支援員等を雇用し、通学支援員を中心に遠い分団の列の後ろについて見守るなどの対応をしています。 このような他校の事例を参考に検討していきたいと考えています。

5	通学路の安全確保を最優先してほしいです。暑い時期、熱中症などが心配なのでスクールバスの整備を前向きに検討してほしいです。	通学距離が遠くなる児童への対応として、スクールバスを整備してほしいという要望はこれまでの統合校での説明会でもいただいています。名古屋市では、小学校の通学距離としておおむね2kmという目安を設定しています。今回の統合にあたっては通学距離を2km以内となるよう進めておりますのでスクールバスを整備するという対応は難しい状況です。通学路の安全対策や熱中症への対策を行っていきますのでご理解いただきますようお願いいたします。
6	通学路は、ガードレールがある道を採用してほしいです。必要であれば新しく設置してほしいです。また、何か困ったことがあった時に、すぐに頼れるようなお店が近くにあるルートや可能な範囲で防犯カメラの設置、子どもたちを見守る人を雇うなどしてほしいです。通学路の路上駐車の厳しい取り締まりを行ったり、西春中小田井線の道路の横断歩道に信号を設置したりしてほしいです。	通学路の変更や安全対策につきましては、地域の代表、保護者の代表、学校の代表と教育委員会からなる「新しい学校づくり懇談会」において検討していきます。ガードレールや横断歩道などの安全対策に必要な施設の設置について、土木事務所や警察署等の関係各所に要望していきます。 他の統合校では、ガードレールの設置や信号機の歩車分離、通学路の標識の数を増やすなどの取り組みを行っています。
7	昔の歩道が無かった時の通学路をそのまま使って遠回りをしていると思うので、浮野小に通うことになる時には遠回りすることがないようにしてほしいと思います。	通学路を設定するときには、1番目は安全面を優先し、距離は2番目というように考えて設定しています。ただ、浮野小学校の場所へ通うことになったときには、新たに通学路を設定する必要がありますので、安全面と距離を考慮し、いただいたご意見にも配慮しながら再検討を進めていきたいと思っています。
8	余計に通学にかかる時間を放課や授業の時間を短くするなど、どこかで補填しないといけないのではないのでしょうか。しかし、授業や放課の時間が短くなるのは、子どもにとって良いことではないと思います。	統合により通学距離や時間が延びることへの対応として、これまで統合した学校については、朝、校門を通る時間を10分から15分程度遅らせる対応をしています。授業時間については、小学校では45分間と決まっており、原則授業時間を削ることはありません。朝の時間を調整したり、放課や清掃の時間を少し短めにしたりするなどこれまでの統合校の取り組みを参考に学校と検討を進めていきたいと考えています。

9	通学距離が最も遠くなる地域から登校している子どもが100人を超えているため統合がデメリットになる人が多いと感じます。現在より分団の集合時間が早くなならないように始業時間を遅くするなどお願いしたいです。	これまでの統合校では、分団の集合時間に大きな変更がないように登校時間を遅くする学校があります。距離が延びる分、家を早く出ることになれば、ご家庭や子どもにとって負担が大きくなることになると思います。学校の門を通る時間を遅らせることによって、家を出る時間は、現在と同じぐらいになるように学校と検討を進めていきたいと考えています。
10	通学の話に関して、自転車通学はどうでしょうか。低学年は自転車通学が認められないのかもしれませんが、今後のこととして検討していただければと思います。	自転車通学につきましては、名古屋市内で認めている小学校はありません。低学年をはじめ小学生が自転車で登下校することは、交通事故への心配が大きく通学は徒歩が基本となっています。

3 新校舎の建設、建設工事中の学校運営について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	新しい校舎の工事が3年程度で新校舎への移転が令和12年度となっていますが、期間が延びることがないように期限を厳守してほしいです。 入札の状況によって工事が延びる可能性があるとのことですが、入札は6年度中ですか。	令和6年度中に統合決定した場合、令和12年度から新校舎で学校運営が行えるスケジュールを示しています。工事の入札の不調などの社会情勢により期間が延びる可能性はゼロではありませんが、教育委員会としましては、何としても12年度4月に新しい校舎で学校生活を送れるように進めていきたいと考えています。 工事入札につきましては、設計が先に必要となりますので、まず2年間かけて設計を行い、その後、令和9年度に工事入札を行う予定です。
2	バリアフリーについてどのようなことを想定されているか教えてください。小学生や教職員が使う想定のカンパニートイレであれば、車いすや松葉杖が必要な人が使いやすいトイレであることが重要だと思います。また、避難所として利用するならば、ベビーベッドよりも、大人が寝転がれるベッドを考えていただきたいと思います。	バリアフリー対策としましては、スロープなどによる敷地内の段差解消、エレベーターの設置、バリアフリースイールの各階1ヶ所ずつの設置を行う予定です。 バリアフリースイールにつきましては、学校が避難所となることもありますので、車いすで十分に転回できるスペースを確保したり、多くの方に不自由なく使っていただけるように、大人用のベッドも導入したりする予定です。

3	男性用・女性用どちらのトイレにも入りづらい子どもに対応したトイレや更衣室についても配慮してほしいです。	新しい学校では、バリアフリースイレを各階に設置する予定です。学校では、男子トイレ、女子トイレのほかに、バリアフリースイレを使用してもよいといった指導をしていくことになると思います。また、更衣室につきましては、新しい学校の設計の中で考えていきたいと思っています。
4	浮野学区では特別支援学校の建設も始まり、工事車両などの大型車が通行しますので、児童の安全を守るために、西警察や西土木事務所とタイアップして児童を守るための対策をぜひよろしくお願いします。	工事期間中の大型車両の通行につきましては、通学路での通学時間帯の移動を制限するなど、安全体制について、工事事業者に対して十分注意するように指導していきたいと考えています。
5	統合すると人数が多くなりますが、浮野小学校よりも平田小学校の方が敷地面積は小さいと思います。狭いエリアに人が増えると教育環境が落ちると思いますが、保育園を移転する案はなかったのですか。	保育園は、現在民間事業者が運営しており、移転してもらうことはできません。新しく校舎を建てる際には、ワークスペースの設置やぬくもりと温かみのある木質化した校舎、現状より大きめな体育館の建設などにより、教育環境がよりよくなることを考えていきます。
6	浮野小学校に、教室は十分に確保されているのでしょうか。また、授業で使う教材や備品などは足りるのでしょうか。	浮野小学校には、余裕教室がありますが、統合校として開校する際には教室が少し不足しますので、仮設校舎の建設を予定しています。なお、仮設校舎にどのような教室を配置するかは、学校と調整しながら検討し、普通教室にはエアコンを設置していきます。また、学校で使う教材や設備関係につきましては、不足することが無いようにします。
7	浮野小学校に仮設校舎を建てると運動場が狭くなってしまうと思いますが、運動場が狭くなっても安全に活動できるのか心配しています。	できる限り運動場が広くとれるような配置で仮設校舎を建設していきたいと考えています。運動会や学校行事にできるだけ支障が少なくなるように配置していきたいと考えています。
8	説明会では浮野小学校での生活環境は分かりませんでした。移転中の浮野小学校での教室等の冷暖房設備等のことが知りたかったです。	普段授業を行う普通教室には、すべてエアコンが設置されています。また、図書室、音楽室、トワイライトスクールにもエアコンを設置しています。ただし、理科室・家庭科室・図工室・体育館には、エアコンが設置されていないので、学校の方で、熱中症対策を講じながら運営しているところです。

4 学校運営について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	統合して子どもたちの人数が増えることで、一人ひとりをきめ細やかに見守ることができなくなりますか。	教職員の人数は、基本的に学級数によって決まります。児童数が増えると学級数も増えますので、教職員の数も増えることになります。そのため、現在の状況と大きく変わることはないと考えています。
2	統合後は、校長先生は1人になるのでしょうか。	統合後、新しい一つの学校になりますので校長は1人となります。また、教職員につきましては、平田小学校の先生と浮野小学校の先生と新しい先生がバランスよく配置される形を考えています。
3	部活動は、浮野小学校の場所で統合校が開校したときは、浮野小学校の部活動の種目になりますか。それとも平田小学校は平田小学校の子どもで、浮野小学校は浮野小学校の子どもで活動するのか教えてください。	部活動につきましては、統合後は両校の子どもたちが一緒に活動していきます。なお、種目につきましては、教育委員会と学校・委託事業者とで参加人数や学校施設のキャパシティなどを考慮し、調整・検討のうえ、決定してまいります。
4	統合にあたって、新しい上履きを買うとか、学用品等を新しく準備する必要があるのでしょうか。	これまでの統合校でも、今の学校で使っている上履きや体操服をそのまま使っただき、買い替えるタイミングで、統合校で決められたものを購入していただくようにご案内しています。基本的には、これまで使用してきたものを続けて使用していただき、保護者の皆さんの負担ができるだけ少なくなるようにしています。
5	現状の浮野小学校のアレルギー対応はどのようになっていますか。新たにつくる学校での給食は、どの程度アレルギー対応をしてもらえますか。今から建物を建設することなので、給食のメニューの話し合いや、それに対応できる調理室をつくることができると思います。	名古屋市では、全小学校共通の献立により給食を提供しており、アレルギー対応につきましても、個別対応によるミスを避けるため、全市共通の対応を行っています。 具体的には、まず、保護者、養護教諭、教頭、栄養職員、調理員と一緒に話し合うアレルギー面談により、どのように対応していくか相談するところから始めます。アレルギー対応食としては、調理の最終工程で食べられないものを取り除く除去食や副食の除去等を行っています。ただ、アレルギーの程度によって対応できるものと対応できないものもありますので、まずはしっかり面談をして、対応策について相談させていただくこととなります。

6	1 学級の人数は、現在どのような基準がありますか。今後少子化社会の中でどのように変わっていくのか教えてください。	名古屋市では、小学校1・2年生につきましては30人学級（但し、1学年34人以下は1学級）、3年生以上につきましては35人学級で学級編成をしています。現在、文部科学省は全学年35人学級という基準で進めていますので、国の基準を見ながら検討していくことになります。
---	--	---

5 新しい学校づくりについて

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	児童相互の交流活動はどのようなことを考えていますか。	これまでの統合校では、5年生の中津川野外学習で、キャンプファイヤーやアスレチックを一緒に行っています。また、科学館のプラネタリウム見学や遠足、校外学習へも一緒に出掛け、レクリエーションを行っています。その他、作品展に、もう一方の学校の児童が見に行き、コメントを書いて交流するなど、様々な取り組みを行っておりますので、統合までにこれまで行われてきた活動を参考にしながら、一緒になるという気持ちを高めていきたいと考えています。
2	少ない人数しかいない浮野小学校の子が、いきなり大人数の中に入るとなると心理的な不安もありますので、何か対策を教えてください。 高学年の子どもの場合、既に友人関係が形成されています。友人関係は学校生活の中で大きな意味をもつので、変化を受け入れられるのでしょうか。統合をすることで、悩みをもつようになる子どもが出てこないように、子どもの心のケアやサポートもよろしくお願いします。	名古屋市では全小学校にスクールカウンセラーを配置し、児童の心のケアを行っています。 これまでの統合校では、統合前に交流活動を行っております。交流前に両校のスクールカウンセラーが講師になって、上手に友達になるための方法や声掛けなどの仕方について授業を行い、交流後も振り返りの授業を行っています。また、授業を通じてスクールカウンセラーと関係性を築いていくことも行っています。 統合後しばらくの間、スクールカウンセラーを2校分配置し、相談しやすい環境をつくりながら、子どもの心のケアを行っていく予定です。

6 トワイライトスクール・ルームについて

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	現在、平田小学校はトワイライトルーム、浮野小学校はトワイライトスクールになっています。統合後は、どのような形で運営されるのでしょうか。	トワイライトスクール・ルームにつきましては、トワイライトルームに一本化されると担当部局から聞いています。
2	平田小学校のトワイライトルームは、現状で人数がいっぱいです。統合するとさらに人数が増えるので緊急の課題だと思いますが、どのようにしていく計画ですか。	これまで統合してきた学校では、どれくらいの児童がトワイライトを利用するか利用率を考慮しながら、あふれることがないように行っています。浮野小学校と平田小学校の統合でもそのような心配がないように、担当部局と進めていきます。また、他の学校では、特別活動室などを学校と利用調整のうえ、活用している例もありますので、新しい校舎の建設の際に、人数増に対応できるよう設計していく予定です。
3	平田小学校のトワイライトルームの先生がとても好きです。浮野小学校のトワイライトに異動はありますか。	トワイライトスクール・ルームの職員の配置につきましては、今後、統合までに担当部局で調整していくこととなります。

7 避難所について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	平田小学校の工事中、広域避難場所がなくなるが、代替えの場所はどのように考えているのでしょうか。 平田学区には、避難所がコミセン、平田小学校、平田中学校、学校体育センターの4ヶ所あるのですが、一階建ての建物は水害のときに避難所になりません。平田小学校の工事中、平田学区の住民がどこに行くのか、区役所と教育委員会がきちんと話し合って対応してほしいです。	工事期間中は、平田小学校の体育館は避難所として使用ができなくなります。これまでの統合の例では、統合の相手校や中学校への避難をお願いしているところです。 工事期間中の避難所につきましては、地域の実情を踏まえ、西区役所と教育委員会とで話し合いをしていきたいと考えています。
2	統合後も含めて、新学校区の避難所計画を確実にお願いします。	統合後の避難所の在り方につきましても、西区役所が検討を進める中で教育委員会も協力していきたいと考えています。

3	豪雨災害の常態化・日常化を念頭に校舎を高床式にしたり、ヘリの離着陸スペースを確保したりするなど、避難所としての機能を考慮することを望んでいます。	新校舎では、今までのような2階建ての体育館、防災無線などを設置した避難者支援室、スロープやエレベーターなどのバリアフリー化、各階へのバリアフリースイレの設置、給排水管の耐震化など、災害時に学校が避難所になることを踏まえた設計を行っています。
4	西原公園に平田小学校を建設すれば、避難所の問題は解決できるのではないのでしょうか。以前から平田中学校を西原公園に移設してほしいという話をしています。雨水貯留槽は、西原公園に将来的に平田中学校が移転して来るかもしれないので、上に建物を建てても雨水貯留槽を破壊しないように設計してほしいと念を押していましたがどのように考えていますか。	西原公園は、都市計画公園のため都市公園法上、公園内に学校を建設することはできません。浮野小学校の早期の小規模校の解消を考えた上で、今、教育委員会でできることとして、平田小学校敷地での建築による案で進めていきたいと考えています。

8 跡地の活用について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	浮野小学校の跡地について、活用の具体的なプランがあるのでしょうか。	現在、具体的なプランはありませんが、名古屋市全体で活用できる事業とか、新たな取り組みができないか市役所全体で希望調査を行い、その後、民間への貸付等を考えていきます。いずれの場合も地域の方のご要望も踏まえながらプランに反映させていきたいと考えています。

9 情報提供について

No	ご意見・ご質問	教育委員会の考え方
1	今回の統合について、今後の情報共有の仕方、展開方法を具体的に教えてください。 保育園・幼稚園での説明会や配付もあった方がよいと思っています。	基本的には地域の組回覧、保護者には学校を通じたの通知、未就学児の保護者には郵送といった今回の説明会の開催通知と同じような形で情報提供をしていきたいと考えています。 また、名古屋市のウェブサイトにも浮野小学校と平田小学校の統合に関するページに順次掲載していきます。